

(様式6) 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	沿岸地域における津波から市民を守る減災防災まちづくり (防災・安全)																			
計画の期間	平成28年度 ~ 平成29年度 (2年間)				交付対象	静岡県御前崎市														
計画の目標	御前崎市は、静岡市と浜松市のほぼ中間に位置し、北部は牧之原台地から続く丘陵地帯、南部は御前崎灯台の建つ岬から掛川市境までの遠州灘海岸の砂丘地帯など約15kmの海岸線を有し、また、岬から牧之原市境まで御前崎港など駿河湾に面した約4.5kmの海岸線を有する静岡県の最南端の総面積65,86km ² の市です。御前崎市では、静岡県第4次地震被害想定に基づき、平成26年度に策定した「御前崎市津波避難計画方針書」において、津波到達予測時間内に浸水区域外や津波避難施設に避難できない避難不可能人数は216人と推定されています。このような状況の中、沿岸地域における津波から住民等を守るため、「御前崎市地域防災計画」及び「御前崎市津波避難計画方針書」に基づく災害に強いまちづくりを進めるとともに、静岡県第4次地震被害想定による津波浸水想定区域内の減災対策を優先的に進め、一人でも多くの命を救うための事業を実行していきます。																			
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・市津波避難計画方針書で避難不可能人数が多く存在する池新田地区において、津波到達予測時間内に避難できる一時避難施設を確保し、当該地区の避難不可能人数の解消を図る。 ・市津波避難計画方針書の避難不可能人数と多くの観光客等が予想される御前崎地区において、津波到達予測時間内に避難できる避難施設を整備し、当該地区の避難不可能人数の解消を図る。 																			
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値		備考								
										当初現況値	中間目標値		最終目標値							
										(H28当初)			(H29末)							
<table border="1"> <tr> <td>H27池新田地区避難不可能人数</td> <td>110人</td> </tr> <tr> <td>H28池新田地区避難不可能人数</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>H27御前崎地区避難不可能人数</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>H29御前崎地区避難不可能人数</td> <td>0人</td> </tr> </table>										H27池新田地区避難不可能人数	110人	H28池新田地区避難不可能人数	0人	H27御前崎地区避難不可能人数	32人	H29御前崎地区避難不可能人数	0人	0%		100%
H27池新田地区避難不可能人数	110人																			
H28池新田地区避難不可能人数	0人																			
H27御前崎地区避難不可能人数	32人																			
H29御前崎地区避難不可能人数	0人																			
<table border="1"> <tr> <td>H27御前崎地区避難不可能人数</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>H29御前崎地区避難不可能人数</td> <td>0人</td> </tr> </table>										H27御前崎地区避難不可能人数	32人	H29御前崎地区避難不可能人数	0人	0%		100%				
H27御前崎地区避難不可能人数	32人																			
H29御前崎地区避難不可能人数	0人																			

全体事業費	合計 (A+B+C)	182 百万円	A	0 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
-------	------------	---------	---	-------	---	-------	---	-------	------------------------	------

○事後評価の実施体制、実施時期										
事後評価の実施体制							事後評価の実施時期			
御前崎市事業評価審査委員会で評価を実施							令和2年3月			
							公表の方法			
							御前崎市のホームページに掲載			

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込(備考欄に完成予定時期を記入) -:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等))

交付対象事業

A 1 基幹事業											全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)							
									H28	H29				H30	H31	H32
1-A-1	防災	一般	御前崎市	直接	御前崎市	都市防災総合推進事業 (池新田地区)	津波避難タワー 1箇所	御前崎市						147.9	○	
1-A-2	防災	一般	御前崎市	直接	御前崎市	都市防災総合推進事業 (御前崎地区)	津波避難路 1路線	御前崎市						33.7	○	
合計											181.6					

B 関連社会資本整備事業											全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 (港湾・地区名)	事業実施期間 (年度)							
									H28	H29				H30	H31	H32
合計											0.0					

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考

C 効果促進事業				直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	進捗 状況	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象						H28	H29	H30	H31	H32			
合計												0.0				

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

(参考) 計画の成果目標を同一とする地域自主戦略交付金の交付対象事業

(別添「事業実施計画」参照)

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 池新田地区東町地内に津波避難タワーを整備することができた。110人の避難不可能者の解消が図れた。 御前崎地区下岬地内に津波避難路を整備することができた。32人の避難不可能者の解消が図れた。 		
II 定量的指標の達成状況	指標① (津波避難タワーの 建設)	最終目標値	100%	目標値と実績値に 差が出た要因
		最終実績値	100%	
	指標② (津波避難路の整 備)	最終目標値	100%	
		最終実績値	100%	
III 定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況 (必要に応じて記述)				
3. 特記事項(今後の方針等)				

(参考図面)

計画の名称	沿岸地域における津波から市民を守る減災防災まちづくり (防災・安全)		
計画の期間	平成 28 年度 ~ 平成 29 年度 (2年間)	交付対象	御前崎市



1-A-2
都市防災総合推進事業(御前崎地区)
津波避難路



1-A-1
都市防災総合推進事業(池新田地区)
津波避難タワー